

# 施策評価調書(1)

評価対象年度 令和元年度

めざす姿	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	3 活気ある商業の振興
施策関係課	(経済部)産業振興課

**●施策の基本方針(目標)**

人々が買い物を楽しめる商業環境づくりと、地域に密着した商店街の魅力づくりを支援し、商業の振興を図ります。

**●目標指標**

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果
	目標値	現状値を上回る(令和2年度)		現状値	59.1(平成27年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	59.9	62.5	61.2	59.3			
指標②	名称	従業者数(卸売業、小売業)			単位	人	指標の種別	成果
	目標値	全国における伸び率を上回る(令和2年度)		現状値	26,913(平成26年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	26,913(平成26年度)	30,842(平成28年度)	30,842(平成28年度)	30,842(平成28年度)			
指標③	名称	年間商品販売額			単位	百万円	指標の種別	成果
	目標値	全国における伸び率を上回る(令和2年度)		現状値	1,051,832(平成26年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	1,051,832(平成26年度)	1,122,968(平成28年度)	1,122,968(平成28年度)	1,122,968(平成28年度)			
指標④	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							
指標⑤	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							

\*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

事業額	(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度決算額	令和2年度予算額
	事業費	49,712	53,225	47,358	46,257	73,218
	概算人件費	17,630	17,550	15,010	15,642	15,642
	総事業費	67,342	70,775	62,368	61,899	88,860

\*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	C	単位施策① 48	単位施策②	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			48.0	

## 施策評価調書(2)

評価対象年度 令和元年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名		① にぎわいある商業活動の振興								
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (予算額)	令和 元年度 の 総評価	令和 2年度 の実施 方向性	
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費			
33100101	商店街活性化事業	経済部	43,617	47,225	43,926	44,212	67,164	54	効率化して 実施	
		産業振興課	9,430	8,970	9,085	9,085	9,085			
33100204	地域経済応援ポイント 事業	経済部	—	—	1,984	343	3,695	36	現状維持 で実施	
		産業振興課	—	—	2,765	3,397	3,397			
33100211	消費拡大事業	経済部	1,343	1,302	1,448	1,702	2,359	54	効率化して 実施	
		産業振興課	3,280	3,120	3,160	3,160	3,160			
33100301	地域リノベーション推進事業 (平成29年度をもって完了)	都市計画部	4,752	4,698	—	—	—	—	—	
		都市計画課	4,920	5,460	—	—	—			

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	33100101	事業名称	商店街活性化事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	産業振興課	問い合わせ先	258-1110(10261)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	60	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 3 活気ある商業の振興 - ① にぎわいある商業活動の振興				
根拠法令等	川口市商店街近代化事業費補助金交付要綱、川口市照明施設維持管理事業補助金交付要綱、川口市空き店舗活用事業補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	商店街振興組合、事業協同組合、任意商店街、地区連合商店会、商工会議所、商工会、市内に住民登録のある個人、市内に法人登記のある法人	同左及び市内商店街の利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	川口市の商業環境は、消費者の生活様式の変化、消費者ニーズの多様化により大変厳しい状況となっている。こうした中、消費者ニーズを的確に捉えた人が集う商業環境づくりが緊急の課題になっているため、地域の特性を活かし人が集える魅力的な商店街活動を支援し、活性化を図る。	・商店街等が実施するソフト事業・ハード事業への補助 ・空き店舗を活用し事業を始める際の改修費への補助 ・商店街等が所有する街路灯等の電気料への補助 ・商店街が実施する美化促進に係る費用への補助 等		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	①商店街コミュニティ活動事業補助金②商店街コミュニティ関連施設設置事業補助金③商店街照明施設維持管理事業補助金④商店街空き店舗活用事業補助金⑤商店街改修事業補助金⑥商店街美化促進事業補助金⑦商店街経営者セミナーの実施	項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	各種イベントの開催や美化活動をすることで、地域住民との交流が図られた。更に街路灯のLED化により、買い物環境の向上及び防犯抑止効果が高まった。	商店街コミュニティ活動事業補助金	49	件
		川口市商店街改修事業補助金	13	件
		商店街コミュニティ関連施設設置事業補助金	2	件

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	商店街コミュニティ活動事業補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	商店街が実施したイベントや販促事業を過去の実績、商店街へのアンケート結果等から考慮し、決定。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況	50		50		50	50		50	
	実績値・達成状況	55	達成	50	達成	49	未達成			
指標②	名称	商店街コミュニティ関連施設設置事業補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	年間補助事業件数を過去の実績、商店街へのアンケート結果等から考慮し、決定。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況	3		3		3	3		3	
	実績値・達成状況	3	達成	2	未達成	2	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	07款	01項	02目	004細目	04細々目	商店街活性化事業				
年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	76,793		53,699		55,912		67,164		67,164		
決算額(B)=(C)+(D)	47,225		43,926		44,212						
財源※	特定財源(C)	4,087		3,156		3,299		6,416			
	一般財源(D)	43,138		40,770		40,913		60,748			
概算人件費(E)	8,970		9,085		9,085		9,085		9,085		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.15	0.00	1.15	0.00	1.15	0.00	1.15	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	56,195		53,011		53,297		76,249		76,249		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	川口商工会議所・鳩ヶ谷商工会・川口市商店街連合会との連携を図りながら、事業者や消費者のニーズ及び商店街を取り巻く環境の変化を踏まえ、より効果的な支援方法も含め、検討して参りたい。	2年度	効率化して実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	33100204	事業名称	地域経済応援ポイント事業	事業区分	主要な事業 政策宣言7・その他
担当	経済部	産業振興課	問い合わせ先	258-1110(10261)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 3 活気ある商業の振興 - ① にぎわいある商業活動の振興				
根拠法令等	川口市ポイント券発行事業要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	加盟店、ポイント券利用者	加盟店、ポイント券利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	クレジットカード会社航空会社、携帯電話会社等で有効利用していないポイントを川口市ポイントへ移行しする。また、市内健康事業に参加し川口市ポイントを取得する。ポイント取得後、500ポイント毎にポイント券(金券)と交換し、市内加盟店で消費してもらい、市内商業活性化を図る。	川口市ポイント500ポイントで1枚500円の川口市ポイント券を交付。交付開始日:平成30年6月～ 場所:本庁舎4階産業振興課、支所、駅前行政センター ポイント券の有効期限は、交付を受けた日から12ヶ月を経過した月末まで。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	・マイキーID登録補助事務。 ・マイナンバーカードを利用して、各種クレジットカード会社等のポイントを市が発行する「川口市ポイント」に交換並びに各種市内健康事業に参加し、「川口市ポイント」取得者に対し、市内の店舗でお買物ができる川口市ポイント券(金券)に交換する事務。	項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	各種イベントの開催等を行ったが、マイナンバーカード普及率が少なく、まずはカード取得する利点を説明しながらPR業務を行う。	「川口市ポイント券」の交付件数	26	件

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域経済応援ポイント事業交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	「川口市ポイント券」の交付件数				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況		20 未達成	26 未達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別								
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	07款	01項	02目	004細目	07細々目	地域経済応援ポイント事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	—	11,923	5,781	3,695	3,695					
決算額(B)=(C)+(D)	—	1,984	343							
財源※	特定財源(C)	—	727	35	1,400					
	一般財源(D)	—	1,257	308	2,295					
概算人件費(E)	—	2,765	3,397	3,397	3,397					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.35	0.00	0.43	0.00	0.43	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	4,749	3,740	7,092	7,092					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	5 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	7 /15
	市関与の必要性	低かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	低かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
36 /60	本事業については、実施自治体も少なく、認知度が低い。また、利用するためには、手続きが必要となり、総体的に関心が低い。まずは、他部局(市民生活部等)と連携し、マイナンバーカードの普及に努め、更に川口商工会議所・川口市商店街連合会等の団体と消費者のニーズ及び商店街を取り巻く環境変化を踏まえ、効果的な支援方法も含め、検討して参りたい。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	33100211	事業名称	消費拡大事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	産業振興課	問い合わせ先	258-1110(10261)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 3 活気ある商業の振興 - ① にぎわいある商業活動の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市内の消費者及び商店事業者	市内の商店事業者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	「お買い物は 私の街で 川口で」をキャッチコピーに、市民に対して川口市の商業についてアピールすることにより、市内消費活動を促し、市内商業の活性化を図る。	・「お買い物は 私の街で 川口で」のキャッチコピーを記載したフラッグや消費啓発グッズ(うちわ・メモ帳)を作成する。 ・商店街の催し情報を掲載したポスターを作成する。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	・市内商店街に消費啓発フラッグを配布し、商店街街路灯に掲出した。 ・市役所窓口や市内各種イベントにて、消費啓発グッズを配布した。 ・ポスターを市内施設や市内掲示板、商店街等に掲示した。	項目	実績	単位
事業の成果【定性的評価】	市内消費の喚起と商店街イベントの周知ができ、商店街のPRが図られた。	消費拡大ポスター印刷枚数	8,000	枚

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	消費拡大ポスター印刷枚数			指標・目標値の説明(算定式)	市内掲示板や商店街等に掲示する年間印刷枚数(年4回、季節毎に約2000枚)。				
	単位	枚	指標の種別	活動		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	8,040	8,040	8,040	8,040	8,040				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	07款	01項	02目	004細目	03細々目	消費拡大事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	1,852	1,843		1,851		2,359	2,359			
決算額(B)=(C)+(D)	1,302	1,448		1,702						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	1,302	1,448		1,702		2,359	2,359		
概算人件費(E)	3,120	3,160		3,160		3,160	3,160			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,422	4,608		4,862		5,519	5,519			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	川口商工会議所・鳩ヶ谷商工会・川口市商店街連合会と連携を図りながら、消費者に対して有効的な事業となるよう実施していく。	2年度	効率化して実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施